

雲湧き出づる故郷 “出雲”

2023.10.9 神迎神事?!

2023年10月9日、生まれて初めて、出雲大社を訪れました^^

出雲大社、伊勢神宮は、日本の二大神域とも言われ、これまで一度も行ったことがない?!
は、自身にとっての不思議…であり、いよいよその時が来た! でもあります(^)/
実父の四十九日に来る前に、なんとしても一緒に?! それが大きき理由でもありました

出雲は、それまで日本の国を治めていた“大国主命”(国津神主宰神)が
天孫“瓊瓊杵尊”(天津神)に国を譲ったとされる、「国譲り神話」の舞台となった地と言われます

出雲へ行こう!と決めてから、なんとなく浮かんでいたのが

やくもた いづも や えがき つま
『八雲立つ 出雲八重垣 妻ごみに 八重垣つくる その八重垣を』

聞いた事はあるけれど、誰のどんな歌?ということで、改めて調べてみました

高天原を追放された素戔鳴尊(須佐之男命)が降り立ったのは、奥出雲の地でした
そこに住む恐ろしい八岐大蛇を退治し、救出した奇稲田姫(櫛名田比売)と結婚した際に
新居として選んだ場所で詠まれた歌で、古事記に出てくる、“日本最古の和歌”との事です^^

(ちなみに、素戔鳴尊と奇稲田姫の娘である須勢理毘売命の、夫となったのが大国主命とされます)

和歌のはじまりが、素戔鳴尊にあった?!とは、以外?!であり、ロマンチック^^

スサノオは、アマテラスを悩ませる乱暴者?のイメージが…(笑)

けれどスサノオは、亡くなってしまった母(イザナミ)を慕い、いつまでも、嘆き悲しんでいた…とされ
大切なもの(母性、究極の愛)を、誰よりも大切にしていたのが、スサノオだった——

とも言えるのではないのでしょうか?^^

今回は訪れる事ができませんでしたが、須佐之男命の御魂が鎮まるという、“須佐神社”
(奇稲田姫も共に祀られています^^)

また、その分院とされる“八雲神社”にも、是非行ってみたいと思います^^

出雲に出かける前にネットで、日本最古の天照大御神の肖像画が、八雲神社にある?!

との情報を目にし、「そうなんだ～～」と思ったのです

八雲神社の御祭神は、“須佐之男大神”・“天照大御神”

八嶋士奴美大神・天之御中主大神・高皇産霊大神・神皇産霊大神とあり

「最古の肖像画」が真実かどうか?は分かりませんが、自身の中で“天照大御神は伊勢”と

決めつけていたことに気づきました(◇)ゞ 心の壁ははずします^^

出発前日(8日)、白山比咩神社にご挨拶を!と思い、出かけました

8日は、“ほうらい祭”(金劔宮の秋季例大祭にともなって催される行列神事。金劔宮の神輿を先頭に、
邪気を払う棒振りの役目を果たす獅子方と、神への感謝を表すために作られた武者などの人形の造り物から成る
神輿渡御の行列が白山市鶴来地区<旧鶴来町の中心地区>を二日間掛けて練り歩く)二日目であり

白山さん駐車場でも、ハッピー姿の若衆が、棒振りと呼ばれる演舞を披露していて

威勢の良い掛け声が響き渡り、人だかりができていました

まるで、出雲へ向けての壮行会のように^^と、ウキウキ気分で鳥居の方へと進んでいくと

何やら視線が…白山比咩大神と書かれた旗の下に、チョコンと誰か(何か)が座っています?



白山比咩大神の使者?!えらく気になるのですが、話しかけてもいいものか?

じっとみるのも失礼な気がして… 自宅へ帰って即、調べました

こちらは、ほうらい祭の陰の立役者？！

ほうらい祭りの猯面(ばくめん)

露払い役の猿田彦だと推察される、奇怪な面と奇抜な衣装で獅子の周りに出没し、子供を驚かしたり、道化のように「棒振り」に参加したりする者のこと。修験者が持つような錫杖や、木鋤板(こすきいた・この地方の雪かき道具)などを手にし、縄に繋がった一灯缶などの缶容器を腰から下げて、ガラガラとそれを引き摺って歩く。

露払い役の猿田彦大神？！

ちゃんとお挨拶しておくんでした…(笑)

さらに、出雲へのワクワクが広がっていきました！^^

島根まで電車を利用すると、8時間以上もかかってしまうので、行きは飛行機にしました
小松から一旦羽田へ行き、乗り換えとなりますが、時間は半分に短縮できます

飛行機に乗るのはどれだけぶりでしょう？

最初はドキドキしましたが、二度目は超ハイテンション？！

雲の上＝地球を飛び出す心地して、アセンション・プリーズ！！(笑)

この時の地上は雨模様でしたが、雲を抜けると、ブルーの空に、眩しい太陽と
“UFO”？が現れました^^



もうすぐだよね！

新地球は、宇宙の愛と光のパラダイス、叡知の大博物館です！！



雲に覆われた荘厳な日本の大地、神々しい国常立太神御龍体が見えてきました^^
(感謝)

出雲縁結び空港へ着いて気付いた事、10月9日は出雲駅伝の日でした
出雲大社前が、出発点となっていて、通行規制が敷かれているのでは？と心配でしたが
バスは何の支障もなく、正面鳥居前まで送り届けてくれました^^

途中、道の両側に分かれて、各大学の応援団が応援合戦をしていて、ここでもお祭り?!
(自身の為ではありませんが、笑)出雲の神々の、歓迎のメッセージ&エネルギーを感じました^^



松の参道を歩いていくと、左手に見えてきたのが
因幡の素兎(いなばのしろうさぎ)で知られる“ご慈愛の御神像”です
大社内には、他に66羽の兎の石像があるとの事、あちこちで出迎えてくれて、癒されました^^
自身にとって、神話とは？神とは？のはじまりが(一番最初に出会った神話？)
傷付いた兎を助けた、心優しい“大国主命”だったかもしれません^^



美しい八上比売(やかみひめ)が選んだのも、だいこくさま(大国主命)でした^^

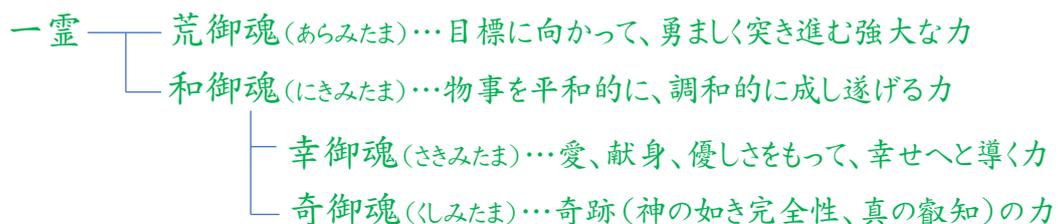
その向こうには手水舎があり、右手に見えるのが、“ムスビの御神像”です
2021年7月に発進したコンテンツ『氣田大社&モーゼパーク』の中でも取り上げた
黄金の光の玉を前にして跪く、大国主命の像です



2021年の夏に、能登一之宮“氣多大社”と
その本宮とされる、“能登生国玉比古神社”を訪れました
能登生国玉比古神社本殿(御祭神は大己貴命<大国主命>)へと向かって歩いていくと

本殿がそのまま、巨大な人の姿のようにみえてきて、その時浮かんだ映像が
ネットで見たことがある、両手を大きく広げた、この大国主の姿でした
調べてみると、大国主命の前には、“黄金の光の玉”があり、その玉とは何か？ですが
それは、大国主自身の、“幸御魂”と“奇御魂”でした
神道には、“一霊四魂”という考え方があり、人は四つの働きをもつ魂で構成されていて
大きくは、“荒御魂”と“和御魂”の二つに分けられると言われます

《一霊四魂》



大国主命は、共に国造りを進めてきた大切なパートナー“少彦名命”を失い
途方に暮れていた時に、海の向こう側から、黄金の光の玉＝“幸御魂”と“奇御魂”が現れ
縦と横、“荒御魂”と“和御魂”の結び(統合)＝四魂のパワー全開によって
“日本の国造り”という偉業を、成し遂げたといわれます
それは、大国主命の男性性の側面(荒御魂)と女性性の側面(和御魂＝幸御魂、奇御魂)
陰と陽の統合・進化(神化)＝“アセンション”！！とも言えるのではないのでしょうか？
新しい日本の創生＝“新たなる神話のはじまり”を見る思いがします^^



銅鳥居をぐり、拝殿、本殿へと向かいました



拝殿



八足門・本殿

八足門の前で出雲の大神様に、感謝と決意(地上神代)の祈りを捧げました^^



自身には、清々しい、神界の真白き光、“スサノオ”がイメージされます^^



本殿の更に向こう側には、^{そがのやしろ}“素鷲社”と呼ばれる
“素戔鳴尊”を祀る摂社があるからでしょうか？



いづもおおやしる

出雲大社(国土の神々)を、後方から、見守り支えている

雄々しいイメージの素戔鳴尊(日の本の龍体＝国常立太神分身)ですが

なんともこぢんまりとして、繊細な波動、そして“美”を感じます^^

新しい地球は、“真・善・美全きミロク世界”

“真”と“善”が、明確に目に見える形となったものが“美”でもあり

決して偽れないもの、ではないでしょうか？

素鷲社側からみた本殿です^^



統合された白い光から生まれる、色のある美しさ——



力であり、役割であり、様々な個性…

“色気”と浮かびました



うさぎさん^^♡表情やしぐさがユニーク、可愛いですね♡

こちらは、日本一とされる神楽殿の“大注連縄”です



さすがの大迫力！落ちて来たらペシャンこ？！

この大注連縄が、自身にとっては、中今の出雲大社の象徴でもある気がして

大きく、締めくる！！

新時代(地上神代、神人の世)へ向けての、気迫のような感じます^^

人の“DNA”のくり直し、様々な二極のくり直し(統合)でもあります！

(菊理姫のお姿が。。。^^)

昇殿参拝をさせていただいたのですが、拝殿にてご祈祷の後

八足門の中へと入ることが許され、感激でした^^ (よく思い出せませんが…笑)

神前手前両脇に、“鏡と剣”？が飾られていて、アマテラスとスサノオが連想されました

ご祈祷の間、自己の核心“ハートと魂”に意識を集中していました

祝詞の最後に「奇御魂、幸御魂、守給へ幸給へ——」と繰り返される言霊が響き渡り

大国主命の強い祈りが、伝わってくるようでした

私に観えていたのは、燃え盛る愛の炎？に包まれた丸い鏡？でしょうか(自己の魂？)

赤い炎がやがて、白の渦模様？に変わり、澄んだ鏡と、そのまわりに見える白い渦は。。。雲?!

そういえば、出雲大社へと向かうバスの中で、上空の雲(雨雲)にやたらと目がいき…

来る前に浮かんでいた和歌に出てくるのも、「八雲立つ—」で、雲です

極めつけは、まさに今ここ!“出雲大社”なのでした！！

ちなみにここ数日、自室の窓の外に大きなクモ(蜘蛛)が巣を張っていて(ちょっと気持ちが悪…(^;))

窓の外は誰の所有物でもないの、払うに払えずにいたのでした(笑) クモはどこへ行った？

おまけに撮っていた写真も、みれば、雲だらけ…(太陽を撮ろうとすると写る?!)



この雲は —— “豊雲野大神”？！

大国主命は素戔鳴尊(須佐之男命)に、国常立大神(地球神)へと続いています
が国常立大神に寄り添う妻のような存在が、豊雲野大神であると言われます^^

国常立大神が、万物を育み支える、永遠の大地ならば
豊雲野大神は、その大地に豊かな実りをもたらす“慈愛の雨”を降らす、雲です！

中今、根源の光に眩しく輝く“良の金神”＝“国常立太神”の復活は
同時に、坤の金神＝“豊雲野太神”復活の時でもあるのではないのでしょうか？

『八雲立つ 出雲八重垣 妻ごみに 八重垣つくる その八重垣を』

八は、「多くの」、「多数」を表す言葉であり、また太陽を象徴する“数霊”とも言われます

この歌は、素戔鳴尊が愛しい妻である奇稲田姫を想って詠んだ歌とされますが

八重垣＝幾重にも張り巡らされた結界に護られ、隠されていたのは
雲出づる地“出雲”に湧き立つ“八雲”＝“豊雲野太神”でもあるのではないのでしょうか？

新居の八重垣を取り払い、溢れんばかりの陽の光と、清々しい風を贈りましょう^^

出雲大社境内には、旧暦10月神無月(出雲では“神在月”と呼ばれます)に
全国各地から集まってくる神々の宿となる(東西の)十九社があり、旧暦の10月10日に
西方1kmの所にある“稲佐の浜”で、神々をお迎えする“神迎^{かみむかえ}神事”が行われるとの事です
明日はちょうど、(新暦ですが)10月10日なので、一足先に、浜へお迎えに行きました！(笑)

“日が沈む聖地出雲”のシンボルとして、日本遺産にも登録されていて

『記紀』の国譲り神話では、大国主命が高天原から派遣された武甕槌神と
国譲りの交渉をした場所でもあるとの事、日暮れに間に合うように、浜へと向かいました

この道であってるかな？誰も歩いていない道を進んでいくと、大きく視界が開け

正面に海が見えてきました！



今はまだ明るいので大丈夫ですが、行はよいよい、帰りはこわい——？

浜までくると、人の姿が見え、ほっとしました

そして左手から、何やら黒い影のようなものが視界に飛びこんだ… と思ったら

やっぱり！？ 弁天島の鳥居の上に、カラスさんがいます(笑)



(何か言ってる? ような気もしましたが、わかりません)

残念ながら曇り空の為、美しいと言われる夕日は見えませんが

ここ数日続いていた寒さもなく、心地よい、幸せなひと時を過ごすことができました^^

——八百万の神々様、いつも、どんな時も、ありがとうございます——

神と人が共存する、素敵な新地球創造に向けて

これからも、どうぞよろしくお願い致します^^



青い空と海、湧き立つ雲——

わずかな時間でしたが、美しい夕日が顕れ

海の上には、太陽の時代へと続く、黄金色の架け橋が掛かりました^^

もう日が暮れたので、出雲大社へと戻る時間です——

人っ子一人いない、薄暗い道を進んでいくと

突然右手の陰？から何かが突進してきた?!? と、次の瞬間

足元にドン！という衝撃が走り、爪で引っかかれた！？ような痛みを感じて

ビックリ仰天?! 心臓バクバク(*_*;

猫、それとも熊？！恐ろしすぎて振り返る事もできず、その場を立ち去るのに必死でした

なんとなく、嫌な予感がしていました。。

何故こんなことに…？ 私が改めるべきことは何だろう…？と

アレコレ考えていると

もしかして、襲われたのではなく、助けられたのかも？！と思えてきました

出雲の神迎神事において、神々を先導するのは“龍蛇神”と言われる事を思い出しました

その時の自身は、“龍蛇神”というより、“龍邪神”だったのでは？

そういえば、9月秋分の日、普段はあまり通らない白山比咩神社北参道側の手水舎のあたりで

本殿の方角へと向かっていく、二匹？の大きな“蛇”に出くわす？というリアルな夢をみていて

(やっぱり大蛇は)あまり気持ちのよいものではないので、少し気になっていました…

また、今回衝撃を感じたのは、足元だけだったことから、地を這う“蛇”がイメージされます…

自己の内なる“邪”が浮かび上がり、猫？熊？によって、祓(払)われた？のかもしれませんが^^

(もしかして、父が助けてくれた？)

白山さんの鳥居の下に、チョコんと座っていた猿田彦神の姿(露払いの御役目?!)が浮かびます^^

自身には、今生だけでなく、地球における(輪廻転生の)長い歴史があり(プラス宇宙史も)

地上セルフに見えているのは、ほんの小さな、一部分だけなのだと思えます

いたずらに闇(邪)にフォーカスすれば、さらに闇が広がっていただけなのではないでしょうか？

宇宙犬の、美しく、壮大なタペストリーの一ピースとして、今地上で出来る事を全力でやる！

それしかありません^^

という事で(笑)、はじめての出雲、楽しかった～～！感謝です<(_ _)>

2023 旧暦10月神在月は、きっと素晴らしいことが起きる！！！！

に違いありません^^v

2023.10.16 あらゆる全てに∞感謝 皇美・流美